

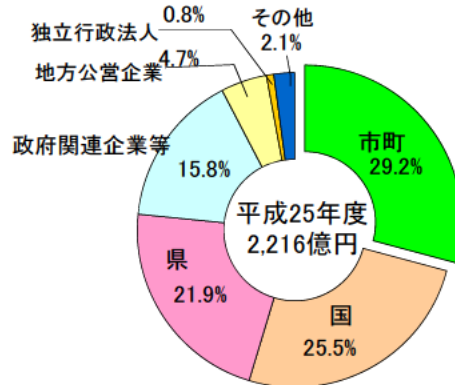
建設・住宅

建設

平成25年度の公共工事の件数は2,904件で、前年度に比べ1,025件（54.6%）増加しました。契約額は、2,216億円で前年度に比べ351億円（18.8%）増加しました。

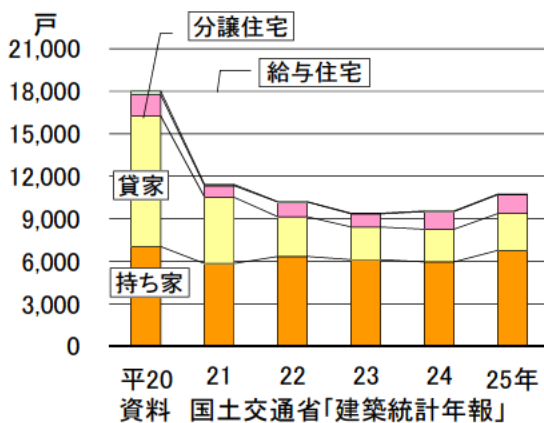
発注者別の契約額割合でみると、市町が29.2%（646億円）、国25.5%（565億円）、県21.9%（486億円）、政府関連企業等15.8%（350億円）、地方公営企業4.7%（105億円）、独立行政法人0.8%（17億円）などとなっています。

図26 発注者別公共工事費割合



資料 国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告」

図27 利用関係別着工新設住宅の推移



資料 国土交通省「建築統計年報」

住宅着工

平成25年中に着工された新設住宅は10,738戸で、前年に比べ1,184戸（12.4%）増加しました。

利用関係別にみると、持ち家が6,760戸（構成比63.0%）、貸家2,614戸（同24.3%）、分譲住宅1,331戸（同12.4%）、給与住宅33戸（同0.3%）となっています。

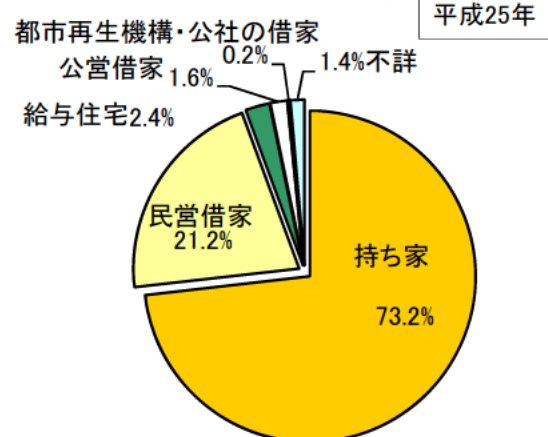
また、資金関係別にみると、民間資金による住宅9,030戸（構成比84.1%）、住宅金融支援機構融資資金による住宅が1,139戸（同10.6%）などとなっています。

住宅

平成25年10月1日現在（住宅・土地統計調査）の住宅総数は83万1,200戸となりました。

また、住宅総数のうち居住世帯のある住宅総数69万9,400戸について住宅の所有関係別にみると、持ち家51万1,900戸（構成比73.2%）、民営借家14万8,200戸（同21.2%）、給与住宅1万6,600戸（同2.4%）、公営借家1万1,400戸（同1.6%）などとなっています。

図28 所有の関係別住宅数



資料 総務省「住宅・土地統計調査報告」